

## 1 設置目的

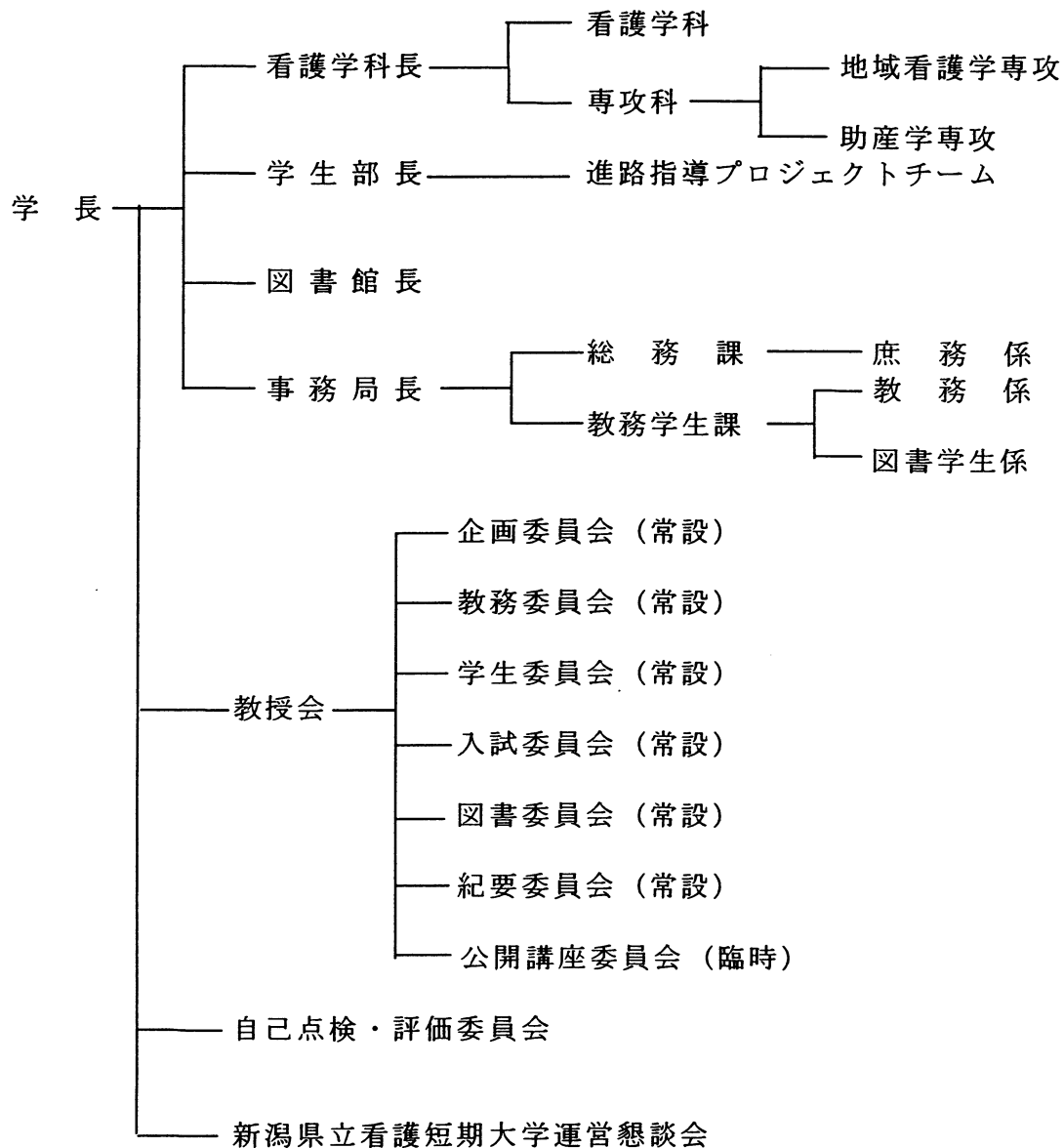
本学は、看護に関する高度な知識及び技術を教授研究し、人間性豊かで、かつ新しい看護ニーズに対応した指導的役割の果たせる人材を育成するとともに、県内の看護関係者に対して研修及び情報提供機能を果たすことにより、本県の保健医療水準の向上と福祉の増進に寄与することを目的とする。

## 2 沿革

- 平成 2 年 6 月 ・「大学等高等教育の推進に関する懇談会」看護系短期大学設置検討意見
- 12 月 ・「看護職員確保対策協議会」養成力強化のため、県立短大設置要望「県立看護系短期大学設立検討委員会」設置
- 平成 3 年 3 月 ・県立看護系短期大学設立検討委員会「県立看護系短期大学（仮称）設置基本構想」を作成
- 4 月 ・県環境保健部総務課県立看護短期大学設立準備室を設置
- 5 月 ・県立看護短期大学「上越市設置、平成 6 年 4 月開学」知事決定
- 7 月 ・「県立看護短期大学設立準備委員会」発足
- 11 月 ・「県立看護短期大学基本構想・基本計画」作成
- 平成 4 年 4 月 ・県立看護短期大学設立準備室組織強化・用地の買収開始
- 5 月 ・基本・実施設計完了
- 10 月 ・校舎建設工事着工
- 平成 5 年 4 月 ・県立看護短期大学設立準備室組織強化
- ・短期大学設置認可申請書を文部大臣に提出
- 9 月 ・看護婦養成学校指定申請書を文部大臣に提出
- 12 月 ・文部大臣より短期大学設置認可
- 平成 6 年 1 月 ・文部大臣より看護婦養成学校指定 ・校舎建設工事完了
- 4 月 ・新潟県立看護短期大学開学 ・第 1 回入学式挙行
- 5 月 ・開学記念式典挙行
- 平成 7 年 3 月 ・シンボルマーク制定
- 5 月 ・第 1 回戴帽式挙行
- 平成 8 年 3 月 ・校歌制定
- 12 月 ・専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）設置届受理
- ・保健婦学校及び助産婦学校指定
- 平成 9 年 3 月 ・第 1 回看護学科生卒業式挙行
- 4 月 ・専攻科（地域看護学専攻及び助産学専攻）開設
- 平成 13 年 4 月 ・看護学科募集停止決定
- 平成 14 年 3 月 ・第 6 回看護学科生卒業式
- ・第 5 回専攻科生修了式挙行

### 3 大学組織

#### (1) 大学運営機構



#### (2) 教職員の状況

##### ① 教員、職員数

##### ア 専任職員

(平成 14 年 3 月現在)

担当	学長	教授	助教授	講師	助手	計
基礎科目		2人	1人	1人		4人
専門基礎科目		1人				1人
専門科目		5人	4人	13人	9人	31人
計		8人	5人	14人	9人	36人

## イ 非常勤講師

(平成 14 年 3 月現在)

担 当	所 属
基 礎 科 目 15 人	・新潟大学 ・上越教育大学 ・県立新潟女子短期大学 ・山梨医科大学 ・国立療養所犀潟病院 ・新潟労災病院 ・厚生連上越総合病院 ・市内開業医 ・県立病院、県福祉保健部、県保健所 ・その他
専 門 基 礎 科 目 31 人	
専 門 科 目 27 人	
計 73 人	

## ウ 事務局

(平成 14 年 3 月現在)

区 分	局長	課長	係長	主査	主任	主事	嘱託員等	計
事 務 局	1 人							1 人
総 務 課		1 人	*1 人	1 人	1 人	1 人	1 人	6 人
教務学生課		(1 人)	*1 人 1 人		3 人	司書 1 人	5 人	11 人
計	1 人	1 人	3 人	1 人	4 人	2 人	6 人	18 人

※ ( ) は兼務、\*係長は副参事

## ② 専任教員名簿

(平成 14 年 3 月現在)

職 名	氏 名	主要担当科目
学長職務代理者 看護学科長	小野澤 康 子	成人看護学概論 成人保健
教 授	加 藤 光 實	看護学概論 臨床看護学総論Ⅰ
〃	田 中 キミ子	老年看護学概論 老年看護学実習Ⅰ
〃	杉 田 収	生化学・化学 統計学
〃	中 野 正 春	解剖生理学Ⅰ リハビリテーション概論
〃	佐々木 美佐子	在宅看護概論 地域看護学概論
〃	関 谷 伸 一	生 物 学 解剖生理学Ⅱ
〃	深 澤 佳代子	基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学実習Ⅰ

職名	氏名	主要担当科目
助教授	長野 勝	精神臨床看護学 精神保健
〃	中村 博生	英語 I・II・III
〃	小林 優子	成人臨床看護学 I 臨床看護学総論 II
〃	秋山 智弥	臨床看護学総論 I 成人看護学実習 I
〃	山本 澄子	基礎看護技術 I 基礎看護学実習 I
講師	秋山 啓子	小児保健学 小児臨床看護学
〃	山田 洋子	成人看護学実習 II 成人臨床看護学 IV
〃	水口 陽子	老年臨床看護学 老年看護学実習 I
〃	小林 美代子	臨床助産学 助産学実習 I
〃	小林 恵子	地域看護技術論 I 地域老年保健学
〃	平澤 則子	地域看護技術論 III 地域成人保健学
〃	飯吉 令枝	地域看護学実習 II 地域看護技術論演習
〃	渡辺 弘之	社会学 社会福祉制度
〃	熊倉 みつ子	在宅看護概論 成人看護学実習 I
〃	和田 佳子	母性臨床看護学 母性保健
〃	山田 正実	成人臨床看護学 II 成人看護学実習 I
〃	大井 ひかる	成人看護学実習 II 成人臨床看護学 III
〃	直成 洋子	臨床看護学総論 II 成人臨床看護学 I
〃	高橋 初美	助産診断技術学 III 助産学実習 I
助手	大久保 明子	看護学実習
〃	西脇 洋子	看護学実習
〃	齋藤 智子	看護学実習

職名	氏名	主要担当科目
助手	會田和美	看護学実習
〃	岡村典子	看護学実習
〃	高塚麻由	看護学実習
〃	森本美智子	看護学実習
〃	垣内志保	看護学実習
〃	山元智穂	看護学実習

③ 非常勤講師名簿

(平成14年3月現在)

氏名	担当科目	所属等
榊原 潔	保健体育(実技)	上越教育大学 助教授
直原 幹	保健体育(講義)	上越教育大学 助教授
川島 章弘	情報科学概論・演習	上越教育大学 教授
藤澤 郁夫	哲学	上越教育大学 教授
若井 彌一	教育学	上越教育大学 教授
西山 保子	物理学	上越教育大学 教授
安田 尚	看護学特論Ⅳ	上越教育大学 教授
山本 保	機能集団の保健管理	
三浦 望慶	運動科学	上越教育大学 教授
立屋敷 かおる	保健栄養論	上越教育大学 教授
下西 善三郎	文学	上越教育大学 教授
山本 誠一	人間発達学	宇都宮大学 助教授
佐藤 一義	臨床栄養学	
近藤 好枝	母性看護学概論	慶應義塾大学 助教授
安田 かづ子	助産管理学	

氏 名	担 当 科 目	所 属 等
光 永 伸一郎	栄養学	上越教育大学 助教授
黎 子 椰	中国語Ⅰ・Ⅱ	上越教育大学 助教授
阿 部 勲	心理学	上越教育大学 助教授
大 森 康 正	情報管理学	上越教育大学 講師
井 沢 功一朗	パーソナリティの諸問題	上越教育大学 講師
横 山 和 彦	福祉行政論・保健医療経済論	新潟大学経済学部 教授
石 井 敏 弘	健康政策論	国立公衆衛生院 主任研究官
花 沢 成 一	母性の精神衛生	聖徳大学 教授
若 月 章	国際関係論	県立新潟女子短期大学 助教授
渡 邊 タミ子	小児看護学概論	山梨医科大学 助教授
武 内 廣 盛	病態学Ⅵ（精神）	国立療養所犀潟病院 精神科医長
寺 尾 通 徳	微生物学	新潟大学 講師
相 田 浩	遺伝学	厚生連上越総合病院
関 剛	病態学Ⅵ（老年）	厚生連上越総合病院 名誉院長
星 山 真 理	病態学Ⅱ（内分泌・代謝）	柏崎中央病院 副院長
石郷岡 泰	行動科学	仙台白百合女子大学 人間学部長
樋 口 正 一	放射線医学	新潟労災病院 放射線科部長
澁 谷 久	科学史	
中 島 大 住	文化人類学	
古 川 素 子	保健栄養論	
荊 木 久 彌	法学	
笠 原 小五郎	看護学特論Ⅲ	上越地域医療センター病院 院長
片 桐 明 善	病態学Ⅰ（泌尿器）	県立中央病院 泌尿器科医長
阿 部 惇	病態学Ⅰ（血液・造血器）	県立中央病院 院長
土 田 正	病態学Ⅲ（脳神経外科）	県立中央病院 副院長
末 山 博 男	放射線医学	県立中央病院 放射線科部長
長谷川 正 樹	病態学Ⅱ（腹部外科）	県立中央病院 外科部長
内 藤 彰	病態学Ⅱ（消化器）	県立中央病院 内科医長
山 崎 国 男	病態学Ⅱ（消化器）	県立中央病院 内科部長

氏名	担当科目	所属等
武田 幸彦	病態学Ⅴ（歯・口腔）	県立中央病院 歯科口腔外科部長
永井 孝一	病態学Ⅰ（血液・造血器）	県立中央病院 内科部長
田部 浩行	病態学Ⅲ（神経内科）	県立中央病院 神経内科医長
丸山 正則	病態学Ⅲ（麻酔科）	県立中央病院 副院長
小林 理	病態学Ⅷ（呼吸器）	県立中央病院 内科部長
矢澤 正知	病態学Ⅷ（胸部外科）	県立中央病院 診療部長
政二 文明	病態学Ⅷ（循環器）	県立中央病院 循環器科部長
濱田 正明	病態学Ⅴ（皮膚）	県立中央病院 皮膚科医長
大島 晃	病態学Ⅴ（眼科）	県立中央病院 眼科医長
丸橋 敏宏	病態学Ⅶ（生殖）	県立中央病院 産婦人科部長
藤原 満	病態学Ⅴ（耳鼻咽喉科）	県立中央病院 耳鼻咽喉科医長
須田 昌司	乳幼児保健学	県立中央病院 小児科部長
丸山 茂	助産診断技術学Ⅳ	県立中央病院 小児科部長
山口 正俊	薬理学	療養所悠久荘 薬剤部長
小野 喜志雄	保健行政論	新潟県福祉保健部 副部長
片桐 幹雄	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 課長
峯田 和彦	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 歯科保健係長
山崎 理	保健行政論	新潟県福祉保健部医薬国保課 課長補佐
堀井 淳一	保健行政論	新潟県福祉保健部健康対策課 感染症対策係長
松井 一光	保健統計学	新潟県新津保健所 所長
前田 雅也	地域精神保健学	療養所悠久荘 精神科医長
上村 桂	疫学・環境保健論	新潟県長岡保健所 所長
西脇 京子	公衆衛生学	新潟県糸魚川保健所 所長
大村 紘一	関係法規	新潟県上越保健所 所長
石本 勝見	臨床心理学	新潟県中央福祉相談センター 所長
荒川 浩和	関係法規	かなやの里更正園 園長
丸山 雄一郎	病態学Ⅰ（腎臓）	丸山内科クリニック
佐藤 健比呂	病態学Ⅴ（IVH・感染症）	内科さとう医院
大原 薫	カウンセリング	国立療養所犀潟病院 心理士

## ④ 事務職員名簿

(平成 14 年 3 月現在)

配 置	職 名	氏 名
事 務 局	事 務 局 長	小 俣 新
総 務 課	総務課長兼教務学生課長	宮 北 昭 治
	副 参 事 (庶 務 係 長)	杉 田 省 五
	主 査	高 橋 直 子
	主 任	本 山 宏 一
	主 事	内 田 恵 子
	嘱 託 員	滝 澤 満
教 務 学 生 課	副 参 事 (教 務 係 長)	村 松 良 雄
	主 任	石 川 光 司
	主 事	岡 本 剛
	嘱 託 員	吉 田 朝 子
	函 書 学 生 係 長	池 亀 玲 子
	主 任	金 澤 昌 美
	司 書	吉 原 貴 子
	嘱 託 員	羽 生 田 崇
	〃	太 田 尊 文
	〃	秦 野 忠 男
	非 常 勤 職 員	中 島 佳 代 子
	〃	滝 沢 貴 美 子

## ⑤ 教員の転入転出一覧表

(転出者)

職 名	氏 名	転 出 先	年 月 日
助 教 授	秋 山 智 弥	新 潟 県 退 職	14. 3. 31
講 師	大 井 ひかる	〃	〃
助 手	垣 内 志 保	〃	〃
助 手	森 本 美 智 子	〃	〃
助 手	會 田 和 美	〃	〃



## (転入者)

職名	氏名	前所属	年月日
学長	中島紀恵子	北海道医療大学	14.4.1
教授	富川孝子	広島大学	〃
〃	吉山直樹	上越市地域医療センター	〃
〃	加城貴美子	川崎市立看護短期大学	〃
〃	加固正子	群馬大学	〃
助教授	堀良子	北里大学	〃
〃	中川泉	新潟県福祉保健課	〃
〃	橋本明浩	千葉大学	〃
〃	北川公子	北海道医療大学	〃
〃	朝倉京子	厚生労働省	〃
講師	井上みゆき	新潟県福祉保健課	〃
〃	笹野京子	高岡市保健センター	〃
〃	山本淳子	新潟工科大学	〃
〃	大友優子	ホリス保健看護学院	〃
〃	徐淑子	茨城県健康科学センター	〃
〃	大友康博	農協共済総合研究所	〃
〃	酒井禎子	新潟県福祉保健課	〃
助手	阿部正子	滋賀医科大学	〃
〃	上原美樹		〃
〃	金井幸子		〃
〃	柏木夕香	新潟県ガンセンター	〃
〃	俊成晴奈	広島大学附属病院	〃

⑥ 事務局職員の転入転出一覧表

(転出者)

職名	氏名	転出先	年月日
事務局長	小 俣 新	県立図書館	14. 4. 1
総務課長	宮 北 昭 治	土木部監理課	〃
教務係長	村 松 良 雄	上越健康福祉環境事務所	〃
主 査	高 橋 直 子	県立新井高校	〃
主 任	金 澤 昌 美	上越農政事務所	〃

(転入者)

職名	氏名	前所属	年月日
事務局長	古 川 和 正	教育庁生涯学習推進課	14. 4. 1
総務課長	斉 藤 博	福祉保健課	〃
教務学生 課 長	本 間 修	十日町地域福祉センター	〃
教務係長	寺 崎 茂	福祉保健課	〃
主 査	関 栄 子	上越土木事務所	〃
主 任	笠 原 恵 子	県立高田工業高校	〃
主 事	大 石 裕希子	福祉保健課	〃

⑦ 訃報

職名	氏名	担当科目	年月日
学 長	斎 藤 秀 晃	医学概論・看護学特論Ⅱ	14. 2. 20 死亡
教 授	村 山 ヒサエ	母性看護学概論・助産学概論	13. 9. 4 死亡

#### 4 施設の概要

・施設面積	42,130 m <sup>2</sup>		
・建物面積	鉄筋コンクリート造3階建	校舎棟	8,781 m <sup>2</sup>
		体育館棟	1,323 m <sup>2</sup>
		計	10,104 m <sup>2</sup>

(主な施設)

管理研究棟	学長室、事務局、研究室29、看護学実験室、会議室3、学生食堂
図書館棟	図書館(6万冊所蔵可能)、LL教室(ブース56台) 情報科学教室(パソコン56台)
教育棟	講義室8、合同講義室2、実習室6、実験室2、演習室4
体育館棟	体育館(講堂兼用)、サークル室5、心理相談室
グラウンド	200mトラック、ソフトボール場、テニスコート2面
駐車場	第1、第2駐車場(170台駐車可能)

#### 5 予算の状況(13年度当初)

(単位：千円)

事業名		予算額	事業名	予算額
教職員給与費		471,919	教育研究費	32,379
維持管理費		43,424	非常勤講師報酬等	17,196
運営費	運営費	28,566	公開講座事業費	88
	各種会議開催費	47	実習指導者養成委託費	737
	各種団体負担金	545	共同研究事業費	3,800
事務費	入学試験費	2,053	臨床実習指導費	6,590
	図書館費	8,058	学内ネットワーク構築費	7,492
	設備充実費	9,168	日米短大国際セミナー参加	426
			合計	632,488

## 6 主要行事

### (1) 学年暦

学 期	事 項	日 程
前          期	入 学 式	4月 5日 (木)
	学内ガイダンス	4月 6日 (金)
	前期授業開始	4月 6日 (金)
	健康診断	4月 6日 (金) ～ 4月 9日 (月)
	学外ガイダンス (看護学科1年)	4月 10日 (火) ～ 4月 11日 (水)
	開学記念日	5月 8日 (火) 休 講
	戴 帽 式	5月 7日 (月) "
	夏季休業	7月 11日 (水) ～ 8月 31日 (金)
	前期試験	9月 10日 (月) ～ 9月 26日 (水)
	補 講	9月 17日 (月) ～ 9月 28日 (金)
後          期	後期授業開始	10月 1日 (月)
	大学祭準備	11月 16日 (金) 休 講
	大 学 祭	11月 17日 (土)
	冬季休業	12月 21日 (金) ～ 1月 10日 (木)
	後期試験	2月 5日 (火) ～ 2月 15日 (金)
	補 講	2月 12日 (火) ～ 3月 20日 (水)
	卒 業 式	3月 8日 (金)
	春季休業	3月 21日 (木) ～ 3月 31日 (日)

## (2) 主要行事等の概要

### ① 入学式

看護学科第8期生102人、専攻科第5期生60人を迎える入学式が、今井副知事を始め多くの来賓の出席をいただき、4月5日（木）午前10時30分から本学の体育館で挙行された。

### ② 戴帽式

5月7日（月）に、県立中央病院長ほか実習施設の方々を来賓に迎え、本学として第7回目の戴帽式が体育館で行われた。

3年生から戴帽生（2年生）1人ひとりにキャッピングが行われ、看護の灯を引き継いだキャンドルを胸にステージに並び、自分達で考えた「誓いの言葉」を全員で述べた後、斎藤学長の式辞や来賓の祝辞を受けた。

式終了後、体育館で教員や先輩を交えて祝賀会が行われ、看護学生としての節目を祝った。

#### <誓いの言葉>

私たちは、本学に入学して一年間、看護の基礎的な知識を学んできました。

今二年目を迎え体験学習を含めた専門知識をさらに深めんとしています。

これから始まる臨床実習では、看護の対象となる方々を教えの師として与えて頂く貴重な体験から多くを感じとれる感性を養うとともに、人を尊びいたわり、おもいやりのもてる看護の心を育み一つ一つの知識の完成に努めます。

看護の対象となる方々には、真摯な態度で本来持つておられる心身能力が、最大限に発揮できより豊かな生活の提供ができるよう専門的な看護の知識と技術の探求を続けてまいります。

感動のときを迎えた本日、私たちを導いてくださる皆様を前に、このナースキャップをより輝かせるよう生命の尊厳という価値観に立ち、自らの使命と向き合い誇りと責任のある看護婦・看護師になることをここに誓います。

### ③ 運営懇談会

開学後 8 回目の運営懇談会が平成 13 年 11 月 7 日に行われ、本学側から大学の当面する課題として、1. コンピューターネットワークの有効活用 2. 4 年制大学への対応と短期大学終了までの円滑な運営 3. 教員の確保と教育・研究環境の整備 4. 質の高い看護職者の養成について説明した後に、ア. 本学が地域社会に果たす役割は何か イ. 看護系大学である本学の教育研究について特に強化をすべきものは何か ウ. 高等学校及び看護の現場などから本学の看護教育に求めるものは何かについてのテーマで意見交換を行った。

### ④ 卒業式・修了式

本年度は、看護学科第 6 期生 98 人と専攻科第 5 期生 59 人（地域看護学専攻 45 人、助産学専攻 14 人）を送り出す卒業式及び修了式が今井副知事をはじめ、大澤上越教育大学長、深川厚生連上越総合病院長ほか、多くの来賓の出席をいただき、3 月 8 日（金）午前 10 時から本校の体育館で厳粛な雰囲気の中で挙行された。

## 7 教 育

### (1) 教育目標とカリキュラムの概要

本学の教育は、生命への畏敬の念をもつことと人権尊重を基本理念とし、科学性、合理性と豊かな人間性及び柔軟な感性をもつ看護の専門家を育成することを目的とする。カリキュラムは、広い視野と柔軟な感性で看護の対象に向き合える能力、進歩発展する医療技術に対応できる基礎的な看護実践力及び看護学の発展と向上に貢献できる探求心を養い、さらに、保健・医療・福祉チームの一員として関連職と連携し協調して看護職の役割を果たす能力を育てることを目標とし構成されている。

看護学科のカリキュラムは、3 分野に大別し、「基礎分野」は科学的思考の基盤と人間と人間生活の理解に関する 14 科目を開講し全て選択科目である。「基礎専門分野」は人体の構造と機能、疾病の成り立ち回復促進及び社会保障制度と生活者の健康に関する 22 科目を開講しほぼ必修である。「専門分野」は基礎看護学、在宅看護論、精神看護学並びに人間の発達段階に応じた小児、成人、母性、老年の各々看護学に関する 33 科目を開講しほぼ必修科目である。さらに、「臨地実習」は看護学実習 15 科目全て必修科目である。なお、1 年次前期から基礎専門分野及び専門分野の科目を配置し、看護学理解への導入としている。

専攻科地域看護学専攻のカリキュラムは、地域看護学概論をはじめとして 27 科目 34 単位開講し、その内 30 単位は必修である。30 単位中 7 単位は臨地実習である。

専攻科助産学専攻のカリキュラムは、助産学概論をはじめとして26科目33単位開講し、その内29単位は必修である。29単位中10単位は臨地実習である。

本学の教育の特徴の一つとして、IT時代に適応する看護職者の育成を目的として、コンピュータによる情報処理能力を身につけるため、関連科目の選択の有無に関わらず、入学当初、新入生全員を対象にコンピュータ操作をオリエンテーションし、コンピュータ室は常時開放している。

## (2) 臨地実習について

看護学科は、2年次後期から3年次前期・後期にかけて、生命の誕生への援助、発達期にある幼児の保育、疾病をもつ人々への援助、老年者の介護や在宅療養者への訪問看護など、隣接する病院や保育所などと契約し、実習施設の実習指導者と本学教員とで協議を重ね、体験学習が効果的にすすめられるように努力している。

専攻科地域看護学専攻は、履修期間1年間において専門科目の進度に合わせながら、健康管理や家庭訪問など、上越地域の生活者を対象に、また県内保健所、市町村保健センターなどと契約し、実習施設の実習指導者と本学教員とで協議を重ね、体験学習が効果的にすすめられるように努力している。

専攻科助産学専攻は、履修期間1年間において専門科目の進度に合わせながら、母性管理や分娩の直接援助など、隣接する病院や開業助産婦会などと契約し、実習施設の臨床指導者と本学教員とで協議を重ね、体験学習が効果的にすすめられるように努力している。

なお、本学では多くの諸施設に学生を配置するため、開学以来学内に実習調整委員会を設け、実習指導準備やまとめについての調整会議を定期的を開催している。

さらに、施設の実習指導者育成のため県などの主催する研修会への派遣に要する費用を予算計上し、既研修者の数も増え実習指導に還元されつつある。

## 8 学生に関する状況

### (1) 在籍学生数（県内、県外別）

（平成 14 年 3 月現在）

#### ① 看護学科

	県内	県外	合計
1年	84人	17人	101人
2年	85人	23人	108人
3年	64人	35人	99人
合計	233人	75人	308人

#### ② 専攻科

	県内	県外	合計
地域看護学専攻	33人	12人	45人
助産学専攻	12人	3人	15人
合計	45人	15人	60人

### (2) 入学試験の状況

#### ① 看護学科一般試験（募集人員 50 人）

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成 12 年度	総 数	354	260	72	59 (1)
	県 内	178	133	43	36 (1)
	県 外	176	127	29	23
平成 13 年度	総 数	482	372	53	50
	県 内	236	203	31	33
	県 外	246	169	22	17

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

※平成 14 年度より学生募集停止。

#### ② 看護学科推薦入試（募集人員 50 人 県内高校の 3 年生のみ）

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 12 年度	106	106	50	50 (3)
平成 13 年度	110	110	50	50 (2)

【注】 上記表の（ ）は男子を内数で示す。

※平成 14 年度より学生募集停止。



③ 専攻科地域看護学専攻一般試験 (募集人員 23 人)

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成 12 年度	総 数	95	75	23	23 (3)
	県 内	40	36	11	15 (1)
	県 外	55	39	12	8 (2)
平成 13 年度	総 数	105	88	23	23
	県 内	34	31	11	11
	県 外	71	57	12	12
平成 14 年度	総 数	108	106	23	23
	県 内	29	28	5	7
	県 外	79	78	18	16 (1)

【注】 上記表の ( ) は男子を内数で示す。

④ 専攻科地域看護学専攻推薦入試 (募集人員 22 人)

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 12 年度	48	48	22	22
平成 13 年度	53	53	22	22
平成 14 年度	35	35	22	22

⑤ 専攻科助産学専攻一般試験 (募集人員 8 人)

年 度		応募者数	受験者数	合格者数	入学者数
平成 12 年度	総 数	35	31	8	8
	県 内	24	22	3	3
	県 外	11	9	5	5
平成 13 年度	総 数	45	43	8	8
	県 内	24	23	4	5
	県 外	21	20	4	3
平成 14 年度	総 数	40	40	8	8
	県 内	15	15	2	2
	県 外	25	25	6	6

⑥ 専攻科助産学専攻推薦入試 (募集人員 7人)

年 度	応募者数	受験者数	合格者	入学者数
平成 12 年度	10	10	7	7
平成 13 年度	17	17	7	7
平成 14 年度	13	13	7	7

(3) 奨学金等の貸与の状況

(平成 14 年 3 月現在)

日本育英会		新潟県奨学金	新潟県看護職員修学資金	他 県
一 種		県教育委員会 月額 32,000 円	県福祉保健部福祉保健課 特別 月額 32,000 円 一般 " 16,000 円	富山県 福島県
自宅生	自宅外生			
7 人	65 人	10 人	55 人	2 人

(4) 心理相談 (学生相談) の状況

平成 7 年 4 月より、心理カウンセリングなど本学学生への心理的援助サービスを目的とした心理相談部門が、学生相談の一部門として組織された。それに伴い設置された「心理相談室 (兼心理学準備室)」にて、心理相談担当教員がカウンセリングや心理判定などの心理相談業務に当たってきた。

平成 11 年度からは心理相談担当教員が転出したため、学生心理相談は、学年ディレクターが担当することとなったが、青年期アイデンティティに関わる問題や対人的な悩み、不安、学習意欲減退などの心理相談で一応の効果をあげている。

## 9 図 書 館

(1) 概 要

① 図書館の各種方針

本学の図書館機能は、その教育活動方針にのっとり、1) 学習支援、2) 研究支援、3) 地域の看護・福祉関係者への情報提供、4) 学生生活への支援という 4 つの柱を基に構築されている。

第 1 の学習支援については、看護学関係の学習図書の充実を考え、次にその関連分野である医学、自然科学一般、統計学等に関する図書を整備してきた。これらの図書とは別に、ビデオ、LD、CD、カセットテープ及びCD-ROMなどマルチメディア製品の購入を図っている。

第 2 の研究支援では、看護学の学術情報、特に文献情報サービスの充実を図った。平成 13 年度現在で、図書館全体では 195 種類の各種雑誌を所蔵しているが、そのうち看護系

の雑誌は 82 種類を数えた。書誌情報誌としては、医学中央雑誌と日本看護関係文献集 International Nursing Index (INI)、Cumulative Index to Nursing & Allied Health Literature (CINAHL)を備えている。

第 3 の地域の看護・福祉関係者への情報提供という、開かれた図書館を目指しての活動は、従来の方針どおり、看護や福祉関係等の学外者の学習と研究支援を目的に、図書の閲覧と貸出を行った。平成 13 年度に新規登録をした学外者は 105 名であり、年々利用者が増加している。

第 4 の学生生活支援については、学生が幅広い教養を身につけられるように専門書以外の教養図書の充実を図ることと、また大学入学と同時に多くの学生が一人暮らしを初めて経験することから、学生生活がスムーズに送れるような情報提供も図書館の使命の一つと考えた。そこで現代文学や推理小説などの気軽に読める文庫本をそろえたり、サークル活動に関連した参考図書や、また新聞・週刊・月刊の一般雑誌・タウン誌・地図・時刻表など生活に密着した資料も可能な限りそろえてきた。

## ② 情報検索システムの整備

図書、資料等の不足を補うため、次の機器・文献検索システム等を整備している。

- ・ 国立情報学研究所とのオンライン文献検索 (NACSIS-IR)
- ・ 県立図書館とのオンライン書誌情報の検索
- ・ 県図書館協議会加盟各図書館との相互貸借
- ・ 医学中央雑誌 CD-ROM 版による検索 (LAN 仕様)
- ・ 国立情報学研究所の " 目録所在情報サービス " への参加

## ③ コンピュータシステムの活用

次の図書館業務の効率化を図るため、コンピュータを導入している。

- ・ 貸出原簿 ・ 利用者登録 ・ 蔵書管理 ・ 図書検索 ・ 原簿、目録の印刷 ・ 統計処理
- ・ 学内 LAN を利用しての文献コピーサービス受付 ・ 相互貸借 (NACSIS-ILL)

## ④ 開館延長時間の実施

昨年度に引き続き、非常勤嘱託員を雇用し月曜日から金曜日 (大学の休業日を除く) は、午後 7 時 30 分まで開館時間を延長し、また、土曜日 (祝祭日と大学の休業日を除く) も午前 9 時 30 分から午後 4 時 30 分まで開館して学生及び学外利用者の利便を図った。

## (2) 今後の整備方針

当館は看護の専門図書館として、引き続き看護、医療関連の図書・学術雑誌の充実を図りたい。

## (3) 蔵書構成

区 分	蔵 書 冊 数	雑 誌 種 類	視 聴 覚 資 料 点 数	
総 記	771	5	27	
哲 学	1,349	4	39	
歴 史	595	5	41	
社 会 科 学	4,940	21	109	
自 然 科 学	16,822	149	837	
技 術	580	6	26	
産 業	137	0	3	
芸 術	765	3	220	
言 語	1,223	1	23	
文 学	1,500	1	14	
計	28,682	195	1,339	
内 訳	和書	25,945	日本語	168
	洋書	2,737	外国語	27

## (4) 図書館利用サービス

入 館 者 数	61,371人 (内学外利用者 1,389人)		
館外貸出	学 生	4,491人	8,515冊
	教職員・その他	777人	1,718冊
	計	5,268人	10,233冊
視 聴 覚 資 料	289人	466点	
学外者利用カード登録者数	332人 (平成14年3月31日現在)		

## その他

① 文献検索	CD-ROM 検索	39回
	NACSIS-IR 代行検索	19件
② 相互貸借業務	他館への依頼	305件
	＼からの受付	38件

## 10 教員の研究・研究活動

### (1) 研究業績

#### ①論文

(本学教員は下線表示)

題 名	氏 名	雑誌名・巻(号)・頁	年	* 所属
女子学生の喫煙習慣と喫煙観について	砥堀雅信*, <u>長野勝</u> , 内藤将智*, 山本保*	上越教育大学保健管理 センター年報 8, 69-73	2001	*上越教育 大学
高学年児童の性に関する意識・知識・自認について ～生活実態調査を手がかりに～	砥堀雅信*, <u>長野勝</u>	上越教育大学総合研究 センター 教育実践研 究 12, 39-45	2002	*上越教育 大学
英語の授業を崩壊させないための生徒指導的配慮 ～中学校英語教師と短大生の意識調査から～	<u>中村博生</u>	新潟大学教育人間科学 部英語学会 REUNION 33, 48-57	2001	
“Anne of Green Gables” as the English Material to Foster Students’ “Vital Power”	<u>中村博生</u>	新潟県立看護短期大学 人間科学研究会誌 人 間科学研究 4, 121-138	2001	
地域保健活動手法の活用実態と課題	<u>平澤則子</u> , <u>斎藤智子</u> , <u>小林恵子</u> , <u>佐々木美佐子</u> , <u>熊倉みつ子</u> , <u>飯吉令枝</u>	新潟県立看護短期大学 紀要 7, 21-30	2001	
保健師が関わるニーズとケアマネジメント過程の特徴 ～難病事例の場合～	岡本玲子*1, 中山貴美子*1, 長畑多代*2, 鳩野洋子*3, 佐藤由美*4, 田口敦子*5, 岩本里織*5, 塩見美抄*5, 沖田裕子*5, 島田美喜*3, 岡部明子*6, <u>飯吉令枝</u> , 長岡恵理*4, 小林亜由美*4, <u>斎藤智子</u>	日本地域看護学会誌 4, 18-25	2002	*1神戸大学 *2大阪府立 看護大学 *3国立公衆 衛生院 *4群馬大学 *5神戸大学 大学院博 士課程 *6東海大学

「長生き」は幸せか ～高齢化社会における”Quality of Life”～	<u>渡辺弘之</u>	人間科学研究 4, 59-78	2001	
訪問看護ステーションにおける事例検討会の開催状況とその意義	<u>熊倉みつ子</u> , <u>飯吉令枝</u> , <u>佐々木美佐子</u> , <u>小林恵子</u> , <u>平澤則子</u> , <u>斎藤智子</u>	新潟県立看護短期大学 紀要 7, 55-64	2001	
看護婦イメージに関する研究 (3)	<u>和田佳子</u> , <u>大石武信</u> *, <u>小林ミチ子</u> ** <u>西脇洋子</u>	新潟県立看護短期大学 紀要 7, 77-84	2001	*日本大学 医学附属看護専門学校 **新潟大学
リハビリテーション看護教育の実態と課題 ～リハビリテーション看護実習の評価およびその後の臨床実習状況からの分析～	<u>山田正実</u> , <u>小林優子</u> , <u>岩片栄造</u> *, <u>加藤光寛</u>	新潟県立看護短期大学 紀要 7, 31-41	2001	*新潟県立 妙高病院
NICU実習の学生の対児感情におけるカンファレンス導入の効果	<u>大久保明子</u> , <u>和田佳子</u> , <u>秋山啓子</u>	新潟県立看護短期大学 紀要 7, 3-20	2001	
降雪地域における環境共生住宅～建築後1年を経過した提案住宅の評価～	<u>斎藤智子</u> , <u>杉田収</u> , <u>関谷伸一</u> , <u>安田かづ子</u> , <u>小林恵子</u> , <u>佐々木美佐子</u> , <u>室岡耕次</u> *, <u>長谷川正道</u> **	新潟県立看護短期大学 紀要 7, 45-53	2001	*ハート1級 建築士事務所 **長谷川興業株式会社

②著書

(本学教員は下線表示)

書名	監修・編集・著者名	分担執筆の題名	出版社・分担執筆頁	地名	年
高齢者とのコミュニケーション・スキル	<u>田中キミ子</u>		中央法規出版社	東京	2001
LABORATORY MEDICINE 異常値の出	<u>河合忠</u> , <u>屋形稔</u> , <u>伊藤喜久</u> 編	<u>γ</u> ーグルタミルトランスペプチ	医学書院 275-278	東京	2001

るメカニズム	集, <u>杉田収</u> ほか 著	ダーゼ			
2002年版 保健婦(士)国家 試験解答と解説	松田正巳, <u>佐々 木美佐子</u>	地域看護学Ⅰ, 地 域看護学Ⅱ, 保健 福祉行政論	医学書院 32-67, 90, 163, 259-262, 270, 444, 445	東京	2002
EBMに基づく手術部・サブ ライ実践ガイド	大久保憲, 中田 精三, <u>深澤佳代 子</u> , 割石富美子 ほか	手術部看護業務	メディカ出版 12-25	大阪	2001
ケースメソッドで学ぶヘル スプロモーションの政 策開発 ～政策化・施策化のセンス と技術～	石井敏弘, 櫃本 真幸 編集 石井敏弘, <u>小林 恵子</u> ほか著	Ⅱ-8産業保健事 例:健康管理の現 状に疑問を抱 き, 真に成果の上 がる事業に変え ていくには? ～職場の健康づ くり事業の方向 性の検討と広が り～	ライフ・サイエン ス・センター株式会 社 132-135	横浜	2001
ケースメソッドで学ぶヘル スプロモーションの政 策開発 ～政策化・施策化のセンス と技術～	石井敏弘, 櫃本 真幸編集 <u>平澤則子</u> ほか著	殆ど親交のなか った自治体(市) から小児肥満予 防教室実施への 協力依頼を受け て ～専門機関とし ての支援のしか たを考える～	ライフ・サイエン ス・センター株式会 社 103-106	東京	2001
生命と社会を考える・社会 福祉制度2001-2002	渡辺弘之 編著		ページネーションシ ステム	上越	2002

## ③学会発表

(本学教員は下線表示)

演 題 名	氏 名	発 表 学 会 名	発 表 年 月 日	発 表 地
上越地域の4施設に外来通院している糖尿病患者のフットケアの実態と関連する要因の検討	<u>小野沢康子</u> , 今村秀基, 笠井昭男, 丸山雄一郎, 吉岡光明, 内山一晃	第44回日本糖尿病学会年次学術集会	2001.4.18	京都市
当病棟における看護婦の仕事に関する考え方の調査	松阪明子, 間野カツノ, 棚橋英子, <u>加藤光寛</u>	平成13年度 新潟県看護協会学会	2001.11.6	新潟市
フラボノイド類の抗酸化能	<u>杉田収</u> , 石澤信人ほか	日本臨床検査医学会	2001.8.27	横浜市
坐骨神経の神経束構築	<u>関谷伸一</u> , 関谷政雄, <u>中野正春</u> , 熊木克治	第106回日本解剖学会	2001.4.4	高知市
腓腹神経と外側足底神経の交通	<u>関谷伸一</u>	第106回日本解剖学会	2001.4.4	高知市
ニホンザル坐骨神経の神経束構築 ～特に腓腹神経の分岐様式について～	<u>関谷伸一</u>	第17回日本霊長類学会	2001.7.14	京都市
坐骨動脈およびその他の血管異常が多発した一例	<u>関谷伸一</u>	第23回肉眼解剖学懇話会	2002.3.28	浜松市
手術部の安全性をふまえた効率化の限界	<u>深澤佳代子</u> , 西村チエ子, 西原三枝子	第23回日本手術医学会総会	2001.11.10	東京都
EFL学習者のリスニング能力と性格特性	<u>中村博生</u>	関東甲信越英語教育学会 第25回新潟研究大会	2001.8.18	新潟市
水分管理不良の透析患者へのアプローチ ～グループワーク導入を試み	田中寛美, 本間康子, 海野美枝子, 首村守俊, 笠井昭男, 島田久	第43回新潟透析懇話会	2001.4.15	三条市



て～	基, <u>小林優子</u>			
除水能低下により腹膜透析から血液透析への移行を自己決定した事例 ～ロイ適応看護論を用いて～	戸田和子, 上原由美子, 海野美枝子, 内藤理恵, 笠井昭男, 島田久基, <u>小林優子</u>	第34回日本透析医学会学術集会	2001.6.22	大阪市
手術後の膀胱留置カテーテル抜去に関する研究 ～硬膜外持続注入患者の排尿の有無とその関連要因～	布施かおる, 新井啓子, 中村早苗, <u>小林優子</u>	平成13年度新潟県看護研究学会	2001.11.5	新潟市
基礎看護学実習時の実習行動計画表の検討	<u>山本澄子</u>	第27回日本看護研究学会学術集会	2001.7.28	金沢市
看護学生の看護職に関する認識の変容 ～1年次と2年次を比較して～	<u>山本澄子</u> , <u>森本美智子</u> , 水野正延, 山田静子	日本健康科学学会第17回学術大会	2001.10.28	金沢市
看護事故の環境要因	<u>山本澄子</u> , 山田静子, 水野正延, 近藤八恵美, <u>森本美智子</u>	第72回日本衛生学会総会	2002.3.29	津市
父親の育児参加の実態と育児の問題認識, 父親役割認識との関連	<u>秋山啓子</u> , <u>飯吉令枝</u> , <u>渡邊典子</u>	第48回小児保健学会	2001.10.17	東京都
高齢者に対する日常生活援助技術の学習プロセスの検討 ～衣服着脱援助に関する記録の分析を通して～	<u>水口陽子</u> , <u>田中キミ子</u>	日本老年看護学会第6回学術集会	2001.11.11	石川県高松町
市町村保健活動における地域保健活動手法活用上の課題	<u>小林恵子</u> , <u>平澤則子</u> , <u>斎藤智子</u> , <u>佐々木美佐子</u> , <u>熊倉みつ子</u> , <u>飯吉令枝</u>	第60回日本公衆衛生学会	2001.11.1	高松市

市町村における地域保健活動手法の活用実態と有効性の評価	平澤則子, 斎藤智子, 小林恵子, 熊倉みつ子, 飯吉令枝	第60回日本公衆衛生学会	2001.11.1	高松市
神経系難病患者を介護する家族のソーシャル・ネットワークと心理的福利からみた援助の課題	平澤則子	第6回日本難病看護学会	2001.8.25	前橋市
神経系難病患者を介護する妻のソーシャルネットワークと心理的福利	細江容子, 平澤則子	第21回家族関係学部会セミナー	2001.10.13	長野市
訪問看護ステーションにおける事例検討会開催の状況とその意義	熊倉みつ子, 飯吉令枝, 佐々木美佐子, 小林恵子, 平澤則子, 斎藤智子	第32回日本看護学会地域看護	2001.9.6	鳥取市
慢性に経過する循環器系疾患患者の自己管理行動および自己効力感に関する影響要因の分析	直成洋子	第27回日本看護研究会 学術集会	2001.7.28	金沢市
テレビ視聴と「死」の意識との関連について ～中学生とその保護者との比較～	大久保明子, 得丸定子	第25回日本死の臨床研究会	2001.11.18	仙台市
介護保険導入における脳外科疾患患者の退院状況の実態調査	佐藤めぐみ, 太田和美, 加藤光寛	新潟県看護研究学会	2001.11.5	新潟市
看護基礎教育における心肺脳蘇生法技術演習の検討 ～技術取得の持続性～ 第2報	太田和美, 小野沢康子, 金子史代, 岡村典子	第32回日本看護学会—看護教育—	2001.8.23	防府市
介護保険導入における脳外科疾患患者の退院状況の実態調査	斎藤めぐみ, 太田和美, 加藤光寛	平成13年度 新潟県看護協会学会	2001.11.5	新潟市

査				
市町村における地域保健活動手法の活用に必要な教育環境整備	齋藤智子, 平澤則子, 小林恵子, 佐々木美佐子, 熊倉みつ子, 飯吉令枝	第60回日本公衆衛生学会	2001.11.1	高松市
助産婦業務の危機感について～現場助産婦の意識調査を通して～	高塚麻由, 垣内志保, 高橋初美, 村山ヒサエ	第42回日本母性衛生学会	2001.11.26	大阪市
助産婦の業務に対する満足度と今後の展望	高塚麻由, 垣内志保, 高橋初美, 村山ヒサエ	第28回新潟母性衛生学会	2001.9.28	新潟市
DMD患者の不安の検討	和久井礼子, 桑原和子, 阿部和美, 山元智穂, 加藤光寶	厚生省精神・神経研究委託費筋ジストロフィー患者のケアシステムに関する総合研究(筋ジス研究福永班)平成13年度班会議(研究成果発表会)	2001.11.17	東京都
筋ジストロフィー患者の食事の検討	和久井礼子, 山元智穂, 加藤光寶	厚生省精神・神経研究委託費筋ジストロフィー患者のケアシステムに関する総合研究(筋ジス研究福永班), 平成13年度班会議(研究成果発表会)	2001.11.26	東京都
放射線治療を受けている食道癌患者の食事摂取に関する検討	山元智穂, 庄司なおみ, 杉浦昌美	第32回日本看護学会成人看護Ⅱ	2001.8.2	岡山市
こどもの心身症を考える	飯田俊穂, 岡村典子ほか	第34回日本カウンセリング学会 自主企画シンポジウム	2001.11.24	大阪市

## ④総説

題名	氏名	雑誌名・巻(号)・頁	年
人の健康と活性酸素	杉田 収	新潟県立看護短期大学紀要 7,9-19	2001
看護職のストレス特性とその対応	小林優子	看護 53 (10),46-49	2001
資格試験合格カード ～栄養・基礎看護技術③・臨床看護概論～	山田洋子	看護学生 49 (4),85-87	2001
実力アップ! 資格試験ファイル	山田洋子	看護学生 49 (5),37-42	2001
変化を「拒否しない」こと	渡辺弘之	人間科学研究 4,27-30	2001
アキレス腱断裂患者の看護計画	山元智穂, 加藤光寶	クリニカルステイ 22 (11),19-29	2001

## (2) その他報告・随想など

(本学教員は下線表示)

題名	氏名	掲載雑誌名・その他	年
上越地域の4施設の外来に通院治療中の糖尿病患者のフットケアに関する実態調査	小野澤康子, 山田洋子, 金子史代, 山際和子	平成11年度 新潟県立看護短期大学 特別研究費助成による研究報告書	2002
婦長連載 「勤務表に愛をこめて」	加藤光寶	看護管理 11 (4),322-323	2001
「新人を温かく迎える」	加藤光寶	看護管理 11 (5),400-401	2001
「打倒セクシュアルハラスメント」	加藤光寶	看護管理 11 (6),80-481	2001
「暑中お見舞い申し上げます」	加藤光寶	看護管理 11 (7),568-569	2001
「患者の手も借りたい」	加藤光寶	看護管理 11 (8),646-647	2001
「看護の質の保証はパスなの？」	加藤光寶	看護管理 11 (8),730-731	2001

保健婦・士教育における臨地実習の教育目標達成のための教員と指導者の役割	<u>佐々木美佐子</u>	平成13年度全国保健婦・士教育協議会教員研修会 20-25	2001
海外研修の機会を得て	<u>深澤佳代子</u>	看護の歴史と未来, 講演会シリーズ特別号 19-23, 木村看護教育財団	2001
看護ケア評価の1検討	<u>深澤佳代子</u>	日本手術医学会誌 第22回総会特集 (4),347-349	2001
看護学生教育における感染対策	<u>深澤佳代子</u>	インフェクションコントロール 11 (3),26-30 メディカ出版	2002
平成11年度共同研究による臨地実習における実習環境に関する調査研究 ～実習環境の現状と学生のストレス内容からの実習評価～	<u>長野勝, 加藤光寶 小野澤康子, 田中キ ミ子, 佐々木美佐 子, 秋山啓子, 小林 美代子, 飯吉令枝, 小林ミチ子, 村山陵 子</u>	平成11年度 新潟県立看護短期大学 特別研究費助成による研究報告書	2002
看護職員のストレスに関する実態調査	<u>尾崎フサ子, 小林優 子ほか</u>	平成13年度看護職員メンタルヘルス対策推進事業プロジェクト委員会報告書	2002
小児の「生きる力」を育む実習指導 ～「泣き」に注目させた小児看護学実習指導～	<u>秋山啓子</u>	人間科学研究会誌 4,3-11	2001
看護職に求められる生きる力 ～肯定的評価によって自分なりの行動ができる実習指導～	<u>山田洋子</u>	人間科学研究会誌 4,12-24	2001
乳幼児保健指導の手引 ～親子の育ちを見守る支援者として～	<u>小林恵子ほか</u>	乳幼児保健指導の手引 改訂 3, 4-8, 15-22, 77-78, 83-88, 92-93	2002

カナダ/BC州のヘルスケアの現況	北山秋雄編集 平澤則子ほか著	新潟県福祉保健部・新潟県看護協会 カナダ夏季研修2001 9-10 ～21Cのコミュニティ・ディベロ ップメントのあり方を求めて～	2001
フェロー四徴症による心不全患者の看護	大井ひかる, 小野澤康子	クリニカルスタディー 5,23-33 メヂカルフレンド社	2001
慢性の循環器系疾患患者の Health Related QOL ～SF-36による測定～	直成洋子ほか	新潟県立看護短期大学紀要 7,113-119	2001
基礎看護技術演習過程の評価 ～[看護系大学授業評価スケール<看護技術演習用>]を用いて～	西脇洋子, 岡村典子, 小林ミチ子	新潟県立看護短期大学紀要 7,3-20	2001
看護基礎教育における心肺脳蘇生法技術演習の検討 第2報	太田和美, 小野澤康子, 金子史代, 岡村典子	新潟県立看護短期大学紀要 7,65-75	2002
介護保険導入における脳血管障害患者の退院状況	太田和美, 加藤光實, 佐藤めぐみ	第32回日本看護学会論文集 看護教育 161-163	2001
介護保険導入における脳血管障害患者の退院状況	太田和美, 佐藤めぐみ, 加藤光實	新潟県立看護短期大学紀要 7,85-91	2001
快適住まい環境研究会報告 第6報 ～当事者主体の住宅改修を考える～	斎藤智子, 杉田収, 小林恵子, 安田かづ子, 関谷伸一, 佐々木美佐子, 西脇洋子, 室岡耕次, 水戸美津子	新潟県立看護短期大学紀要 7,105-111	2001
看護学生の男性助産士導入に関する意識調査	高塚麻由, 垣内志保, 高橋初美, 村山ヒサエ	新潟県立看護短期大学紀要 7,93-103	2001

## (3) 講演及び研修会講師

題 名	氏 名	講 演 会 名	年 月 日	場 所
看護研究の進め方	加藤光寶	新潟県立中央病院看護部	2001.4.25	上越市
看護研究	加藤光寶	燕労災病院看護研究講義 (レベルI)	2001.5.19 5.26 10.6 12.1	燕三条市
相手の心に響く質問技法	加藤光寶	平成13年度(社)鳥取県看護協会第2回研修会	2001.6.15	鳥取市
看護研究	加藤光寶	国立療養所新潟病院看護部	2001.7.13	柏崎市
リーダーシップ	加藤光寶	国立療養所西新潟病院看護部	2001.3.30	新潟市
組織に影響力を与えるリーダーシップ能力の育成	加藤光寶	長岡赤十字病院看護部教育研修委員会リーダーシップ研修班	2001.7.17	長岡市
看護研究	加藤光寶	見附成人病センター病院看護部	2001.8.4	見附市
3年目のあなたに送るエール 看護観を持つ	加藤光寶	東京大学医学部附属病院看護部	2001.7.23	東京都
実習指導の方法	加藤光寶	新潟県福祉保健部福祉保健課 平成13年実習指導者養成講習会	2001.9.6 9.13 9.27 10.4	新潟市
看護職員の倫理	加藤光寶	平成13年上越圏域小	2001.10.21	上越市

患者主体のケア, QOLの向上, 患者の権利擁護, プライバシー保護		規模施設看護職員実務研修		
看護婦の倫理など 患者主体のケア, QOLの向上, 患者の権利擁護, プライバシーの保護	加藤光寶	平成13年糸魚川圏域 小規模施設看護職員 実務研修	2001.11.8	糸魚川市
研修の講評	加藤光寶	三条地区看護協会	2002.3.2	燕市
実習指導者講習会	加藤光寶	新潟県福祉保健部福祉保健課 平成13年度実習指導者講習会	2002.3.6	新潟市
健康と生活自立を支える住宅	杉田 収	住宅セミナー	2001.4.11	上越市
血液透析と住環境 ～透析歴25年を振り返りながら～	杉田 収	新潟県立中央病院腎友会	2001.4.22	上越市
快適な雪国の住まいづくり	杉田 収	あらい雪シンポジウム	2001.10.10	新井市
ヒューマン都市の形成を目指して ～すべての人にやさしく, 人を大切にするまちづくり～	杉田 収	地域づくり全国交流会議上越大会	2001.11.15	上越市
障害・疾病の理解	中野正春	平成13年度新潟県訪問介護員養成研修2級課程	2001.9.5 9.6	上越市
医学の基礎知識	中野正春	平成13年度上越市教育委員会女性サポートセンター事業 老人介護講習会	2001.10.3	上越市
腰痛について	中野正春	第35回柏崎社会保険委員大会記念講演	2001.11.6	柏崎市



在宅看護概論	佐々木美佐子	国立療養所新潟病院 附属看護学校	2001. 6.28 7.5, 7.19, 7.23,	柏崎市
保健婦・士教育における臨地実習の教育目標達成のための教員と指導者の役割	佐々木美佐子	平成13年度全国保健婦・士教育協議会教員研修会	2001.8.3	東京都
介護保険事業計画等の進行管理と介護予防・生活支援事業のあり方	佐々木美佐子	市町村現任職員研修会	2001.9.20	糸魚川市
実習指導の実際（在宅看護論）	佐々木美佐子	新潟県保健福祉部平成13年度実習指導者養成講習会	2001.9.25	新潟市
高齢者の保健・福祉	佐々木美佐子	平成13年度弥彦村健康まつり	2001.11.18	弥彦村
虐待の早期発見と子育て支援を視野に入れての乳幼児健診に向けて	佐々木美佐子	上越保健所乳幼児健康診査従事者研修会	2001.10.12	上越市
看護研究の講評	佐々木美佐子	平成13年度 新潟県看護協会十日町地区協会	2001.12.1	十日町市
地域保健と学校保健の連携	佐々木美佐子	新潟大学養護教諭特別別科養護教育実践研究	2001.12.14	新潟市
地域特性とニーズにそった事業計画の立案と保健婦・士活動	佐々木美佐子	新潟県保健福祉部平成13年度保健婦・士等新任者研修会	2002. 1.16-17	新潟市
在宅看護論実習の展開と指導の実際	佐々木美佐子	新潟県保健福祉部平成13年度在宅看護論実習指導者研修会	2002.2.7	新潟市

保健婦活動の評価	佐々木美佐子	上越保健所保健婦業務研究会	2002.2.15	上越市
住民と取り組む健康なまちづくり事業の評価	佐々木美佐子	新潟県国民健康保険連合会	2002.2.26	新潟市
医学の基礎知識	関谷伸一	平成13年度新潟県ホームヘルパー養成研修	2001.9.4	上越市
海外研修の機会を得て	深澤佳代子	木村看護教育財団創立10周年記念シンポジウム	2001.5.12	東京都
看護職員の倫理 ・インフォームドコンセントおよび看護記録 ・看護職員の免許と法的責任	深澤佳代子	平成13年度上越保健所小規模施設看護職員実務研修	2001.10.21	上越市
看護の立場で見たあるべき医療環境とは	深澤佳代子	日米医学交流財団, 野口医学研究所主催シンポジウム2001	2001.11.24	東京都
看護職員の倫理 ・インフォームドコンセントおよび看護記録 ・看護職員の免許と法的責任(医療事故防止, 観察の重要性)	深澤佳代子	平成13年度糸魚川圏保健所小規模施設看護職員実務研修	2001.12.13	糸魚川市
看護研究の講評	長野 勝	平成13年度 新潟県看護協会十日町地区協会	2001.12.1	十日町市
健康ウォーキング教室	小林優子	新潟県看護協会 2001年「看護の日」記念事業	2001.5.11	新潟市

歩いて食べて健康づくり ～ウォーキング教室～	小林優子	新潟県立中央病院 「楽しく糖尿病とつきあう会」	2001.10.20	上越市
救急看護	小林優子	上越保健所小規模施設看護職員実務研修	2001.11.18	上越市
看護職のストレスとストレスマネジメント	小林優子	国立療養所西新潟病院看護研究会	2000.11.22	新潟市
ナースがこころを癒すとき ～ストレスマネジメント実践講座～	小林優子	財団法人日本総合研究所看護セミナー	2001.12.8	名古屋市
土曜の夜はみんなでウォーキング ①～⑦	小林優子	三和村元気づくり会	2000.12.15 12.22 2001. 1.19 1.26 2. 2 2. 9 2.16	三和村
看護職のストレス特性とその対応	小林優子	三条保健所平成13年度小規模施設看護職員実務研修	2002.2.13	三条市
ナースがこころを癒すとき ～ストレスマネジメント実践講座～	小林優子	財団法人日本総合研究所看護セミナー	2002.2.24	大阪市
エアロビクス 実技と講義	小林優子	上越総合病院	2002.3.9	上越市
小児看護学実習 講義	秋山啓子	新潟県実習指導者養成講習会	2001.10.5	新潟市
小児看護学実習 演習	秋山啓子	新潟県実習指導者養成講習会	2001.10.18	新潟市
地区把握,分析の手法及び視点について	小林恵子	六日町保健所管内保健婦(士)業務研究会	2001.4.16	六日町

保健婦（士）養成カリキュラムと新人研修の課題	小林恵子	平成13年度新潟県保健婦(士)集会「活動を語る会」	2001.7.14	新潟市
新エネルギーをもっと身近に (パネルディスカッション)	小林恵子	上越市新エネルギー市民フォーラム	2001.11.14	上越市
地域看護と福祉住環境	小林恵子	グループ築宅：第8回福祉住環境勉強会	2002.2.24	新潟市
助産婦もお手伝いします ～性教育における助産婦の役割～	小林美代子	糸魚川保健所 思春期保健研修会	2001.12.20	糸魚川市
性について語り合しましょう	小林美代子	柏崎保健所 思春期保健教育・相談推進事業	2002. 1.24 2.26	柏崎市
難病介護者の健康管理	平澤則子	十日町保健所神経難病相談会	2001.6.13	十日町市
コミュニティ・ミーティングの実践学習	平澤則子	第31回岩手県市町村保健婦研修会	2001.7.10	岩手市
楽しく介護ができるために必要なこと	平澤則子	六日町保健所難病患者会	2001.11.29	六日町
職能委員会活動の活性化をはかる ～私たちの協会活動は私たちが創ろう～ (ワークショップ全体進行役)	平澤則子	日本看護協会都道府県職能委員会	2001.7.30 2002.2. 1	東京都
Community Developmentとヘルスプロモーション	平澤則子	新潟県保健所保健婦(士)会自主研修会	2001.12.1	新潟市
ヘルスプロモーションと健康日本21について	平澤則子	糸魚川保健所管内保健婦・栄養士合同研究会	2001.12.3	糸魚川市

Community Developmentとヘルスプロモーション ～ヘルスプロモーションって何？ 住民主体・住民参加とは何？～	平澤則子	平成13年度巻保健所管内地域保健関係職員研修	2001.2.8	巻町
コミュニティ・ミーティング ①, ②, ③, ④	平澤則子	清里村岡野町健康を語る会	2001.10.23 11. 6 11.20 2002. 2.19	清里村
コミュニティ・ミーティング ①, ②, ④	平澤則子	清里村東戸野健康を語る会	2001.12. 4 12.18 2002. 2.27	清里村
高齢者の行動とその接し方について	飯吉令枝	平成13年度広域圏共同活動助成事業民間福祉従事者リフレッシュ事業研修会	2001.10.23 11.14	上越市
社会福祉制度とホームヘルパーの意義	渡辺弘之	上越市ホームヘルパー2級養成研修	2001.9.3	上越市

(4) 学会及び社会での活動

氏 名	事 項	就 任 年
小野澤康子	日本サイコオンコロジー学会 世話人	2001
小野澤康子	上越地区 糖尿病合併症研究会 世話人	2000
小野澤康子	上越地区 内分泌糖尿病研究会 世話人	2000
小野澤康子	新潟県 糖尿病療養指導士育成推進協議会中央委員会 委員	2000
加藤光寶	新潟県立新発田病院建築プロポーサル 委員	2001
田中キミ子	テレトピア・在宅看護研究会 委員長	1998
田中キミ子	上越市 IT戦略会議 委員	2001
杉田 収	日本電気泳動学会 評議員	1975
杉田 収	日本自動化学会 評議員	1975
杉田 収	生物試料分析学会 評議員	1991
杉田 収	日本臨床検査医学会 評議員	1991
杉田 収	日本臨床化学会 評議員	1992

杉田 収	上越市 人にやさしいまちづくり推進会議 会長	2001
中野正春	新潟地域留学生等交流推進会議運営委員会 委員	1996
佐々木美佐子	上越在宅ケア研究会 幹事	1996
佐々木美佐子	全国保健婦教育機関協議会20周年記念事業 担当理事	2001
佐々木美佐子	上越市 介護保険運営協議会 委員	2000
佐々木美佐子	新井市 介護保険運営評価委員会 委員	2000
佐々木美佐子	新潟県 介護保険審査会 委員	1999
佐々木美佐子	上越市 少子高齢を考える市民懇談会 委員	2001
関谷伸一	公立短期大学図書館協議会 会長	2000
関谷伸一	日本図書館協会短期大学部短期大学図書館部会 副部会長	2000
関谷伸一	日本図書館協会 理事	2001
深澤佳代子	日本看護学会誌 投稿論文査読委員	2001
深澤佳代子	日本手術医学会 評議員	1999
深澤佳代子	日本手術医学会誌 編集委員	2000
中村博生	関東甲信越 英語教育学会 理事	1990
小林優子	新潟県看護協会常任委員 学会委員	2001
小林優子	新潟県 看護職メンタルヘルス対策推進事業看護職員のストレスに関する 実態調査プロジェクト 委員	2001
小林恵子	上越市 美しい町づくり 環境アドバイザー	1998
小林恵子	上越市 地域新エネルギービジョン 策定委員	2001
小林恵子	新潟県看護協会 乳幼児保健指導の手引作成委員会 委員長	2001
平澤則子	新潟県健康づくり総合センター実践指導プログラムにかかる意見交換会 構成員	2000
平澤則子	上越市コミュニティケア研究会 委員	2001
渡辺弘之	港区バリアフリータウンマップ 作成委員 (港区社会福祉協議会・港区ボラ ンティアセンター)	2001
大久保明子	新潟大学・上越教育大学 いのちの教育を考える会 スタッフ	2001
岡村典子	日本カウンセリング学会 認定カウンセラー	2001

(5) 科学研究費による研究

研究種目	研究課題名	本学研究者名	研究代表者所属	期間

## (6) 教員海外研修

氏名	研修テーマ	研修地名	期間
深澤佳代子	リスクマネジメントと感染管理, 救急看護ほか	アメリカ, ペンシルベニア州, フィラデルフィア	2001. 7.30-8.29
平澤則子	地域づくり (Community Development) のためのカナダ夏季研修 (初級コース)	カナダ, ブリテッシュコロンビア州ほか	2001. 8.5-8.13
渡辺弘之	東南アジア地域におけるNGO育成と活動の展開について ～フィールドワークの理論化からみた課題～	ベトナム・ホーチミン他	2001. 8.16-8.29

## (7) 共同研究

(本学教員は下線表示)

題名	研究者名	* 所属	研究開始年	期間
筋ジストロフィー患者の主たる介護者の不安に関する研究	加藤光寶, 小林優子, 太田和美, 南雲老巳*	*国立療養所新潟病院	2001年	2年
抗酸化能測定法(CHP/Hb・MB法)の開発	杉田収, 中野正春, 石澤信人*, 松戸隆之*, 岡田正彦*	*新潟大学	2001年	3年
地域保健活動におけるコンサルテーションプロセスの評価項目の検討	佐々木美佐子, 熊倉みつ子, 小林恵子, 平澤則子, 飯吉令枝, 斎藤智子		2001年	1年
在宅ケアを支える「住まい環境」の改善に関する研究	安田かづ子* 1, 杉田収, 関谷伸一, 佐々木	*1上教大・大学院, *2山梨県立看護大学, *3ハート1級建築士事	2000年	3年

	美佐子, 小林恵子, 西脇洋子, 斎藤智子, 水戸美津子*2, 室岡耕次*3, 山際和子*4	務所, *4新潟県福祉保健部福祉保健課		
生きる力を育むこと	中村博生, 渡辺弘之, 山本誠一*	*宇都宮大学教育学部	2001年	1年
中高年のエアロビックダンス中の心拍数の変化とプログラム構成に関する研究	小林優子, 太田あや子*	*武蔵丘短期大学	2000年	2年
訪問看護ステーションにおける事例検討会開催状況とその意義	熊倉みつ子, 飯吉令枝, 佐々木美佐子, 小林恵子, 平澤則子, 斎藤智子		2001年	1年
看護婦イメージに関する研究	和田佳子, 小林ミチ子*	*新潟大学	2000年	2年
看護の職業的能力やその発達に関する研究	山田正実, 太田和美, 岡村典子, 小林ミチ子*	*新潟大学	2000年	4年



## 11 大学の公開

### (1) 公開講座

本学は、広く県民に健康と看護に関する知識の普及と地域の看護関係者の資質の向上に寄与することを目的とし、一般県民を対象とした一般公開講座と看護に関する職業に従事する者を対象とした専門公開講座を実施した。

#### ① 専門公開講座

- ・テーマ 「看護研究の基礎」  
基礎的な看護研究のプロセスを体験し、看護現場における問題解決に役立てる。
- ・受講者 39人
- ・日程及び内容

日	時間	内 容	講 師
第1日目 7/16 (月)	8:30～ 9:00 9:00～ 9:15 9:15～ 9:30 9:30～10:30 10:30～10:40 10:40～12:00 12:00～13:00 13:00～14:20 14:20～14:30 14:30～16:00	開場・受付(第一合同講義室) 開講式 オリエンテーション 講義「臨床看護研究」 (情報科学教室へ移動) 演習「コンピュータ操作の基礎」 (休憩・昼食) 演習「統計ソフト STATISTICA の基本操作」 (休憩) <グループワーク> 演習「データの入力と集計」	学 長 齋 藤 秀 晃  教 授 加 藤 光 實  嘱託員 瀧 澤 満  助教授 秋 山 智 弥
第2日目 7/17 (火)	9:00～12:00 12:00～13:00 13:00～16:00	<グループワーク> 演習「データの考察」 (休憩・昼食) 演習「図表の作成」	8グループ編成 1 小野澤学科長 秋山(智)助教授 飯吉講師 西脇助手 2 加藤教授 山本助教授 直成講師 齋藤助手 3 田中教授 秋山(啓)講師 和田講師 太田助手 4 佐々木教授 山田(洋)講師 山田(正)講師 岡村助手 5 村山教授 水口講師 大井講師 高塚助手 6 深澤教授 小林(美)講師 熊倉講師 森本助手 7 長野助教授 小林(恵)講師 高橋講師 垣内助手 8 小林(優)助教授 平澤講師 大久保助手 山元助手
第3日目 7/18 (水)	9:00～12:00 12:00～13:00 13:00～14:20 14:20～14:30 14:30～14:50 14:50～15:00 15:00～15:45	<グループワーク> 演習「報告書の作成」 (休憩・昼食) 演習「グループのまとめ」 (休憩) 本学助手のまとめ (休憩) 閉講式	学 長 齋 藤 秀 晃

## ② 一般公開講座

- ・テーマ 『手足の神経—末梢神経の構造とはたらき—』
- ・講演 教授 関谷 伸一
- ・受講者 100人
- ・日程 平成13年11月17日(土)
- ・会場 新潟県立看護短期大学 第1合同講義室

## 12 学生自治会 《平成6年5月30日設立》

### (1) 大学祭『桜桃祭』開催

- ・日時：平成13年11月17日(土)
- ・来校者：約500人
- ・テーマ：「看護学実習、学習発表・模擬体験」  
「体力測定・健康チェック」  
「研究発表……快適住まい研究会」  
「献血事業」
- ・一般公開講座：「手足の神経—末梢神経の構造とはたらき—」

### (2) サークル活動

#### サークル名

- |             |              |
|-------------|--------------|
| ・バトミントン     | ・硬式テニス       |
| ・バスケットボール   | ・バンドサークル     |
| ・もしもし亀さん応援団 | ・バレーボール      |
| ・快適住まい環境研究会 | ・ボランティアサークル  |
| ・水研究会       | ・合唱サークル      |
| ・エアロビクス研究会  | ・英語研究会       |
| ・手話サークル     | ・スキー・スノボサークル |
| ・ソフトテニス     | ・屋外球技同好会     |

資 料

主要行事日誌

4月2日(月)	辞令交付…教員3名採用、事務職員2名転任
5日(木)	第8回入学式
5日(木) ~6日(金)	在学生ガイダンス、前期授業開始、学生健康診断
10日(火) ~11日(水)	入学生ガイダンス…学内及び国立妙高少年自然の家で実施
13日(金)	福祉保健部所長会
5月7日(月)	第7回戴帽式
8日(火)	開学記念日
29日(月) ~30日(水)	全国公立短期大学協会第51回通常総会 …鹿児島市で開催 斎藤学長、小俣事務局長 小野澤看護学科長出席
6月21日(木) ~22日(金)	第62回関東ブロック公立短期大学協議会 …甲府市で開催 斎藤学長、宮北課長出席
25日(月)	平成13年度公立大学等事務局長会議 …東京都で開催 小俣事務局長出席
7月6日(金)	新潟県大学図書館協議会総会 …新潟市で開催 関谷図書館長、吉原司書出席
8日(木) ~12日(木)	日米短期大学交流セミナー …ハワイで開催 斎藤学長、秋山助教授出席
10日(火)	定期監査(書記)
11日(水) ~9月2日(日)	夏季休業
12日(木) ~13日(金)	2年生保健体育(実技)集中授業 …国立妙高少年自然の家で実施
16日(月) ~18日(水)	専門公開講座(受講生39名)
23日(月) ~24日(火)	第29回全国公立短期大学協会医療看護系協議会通常総会 …川崎市で開催 斎藤学長、小野澤看護学科長、加藤教授出席
26日(月)	定期監査(委員)
27日(金)	全国公立短期大学協会事務職員中央研修会 …東京都で開催 池亀係長出席
8月3日(金)	全国公立短期大学協会関東ブロック事務担当者会議 …川崎市で開催 金沢主任、本山主任出席
3日(金)	公立短期大学図書館協議会関東地区ブロック会議 …前橋市で開催 関谷図書館長、池亀係長出席
23日(木) ~24日(金)	公立短期大学図書館協議会職員研修会 …和歌山市で開催 関谷図書館長、吉原司書出席
24日(金)	全国公立短期大学協会幹部研修会 …東京都で開催 斎藤学長、小俣事務局長出席

31日(金)	年報第7号発行
9月10日(月) ~26日(水)	前期試験
10月1日(月)	後期授業開始
11日(木)	第32回公立医療短期大学事務局長会議 川崎市で開催 小俣事務局長出席
22日(月) ~26日(金)	専攻科推薦入試願書受付…応募者 48人
23日(火)	総合消防訓練
24日(水)	公立短期大学図書館協議会総会…岐阜市で開催 関谷図書館長 池亀図書学生係長、吉原司書出席
24日(水) ~26日(金)	第87回全国図書館大会…岐阜市で開催 関谷図書館長出席
11月1日(木)	第8回大学運営懇談会
11日(日)	専攻科推薦入学試験日……………受験者 48人
16日(金)	専攻科推薦入試合格者発表…合格者 29人
17日(土)	大学祭、一般公開講座
26日(月) ~12月4日	専攻科一般入試願書受付…応募者 148人
12月3日(月)	紀要第7巻発行
16日(日)	専攻科一般入学試験日……………受験者 148人
18日(火)	県内高等教育機関懇談会……上越市で開催 中野教授出席
21日(金)	専攻科一般入試合格者発表…合格者 31人
21日(金) ~1月10日	冬季休業
1月15日(火)	学長候補者選挙投票日
2月5日(火) ~2月8日	専攻科後期試験
5日(火) ~2月13日	看護学科後期試験
18日(月)	特定建築物立入検査(上越保健所)
20日(水)	福祉保健部所長会
21日(木)	保健婦国家試験
22日(金)	助産婦国家試験
24日(日)	看護婦国家試験
25日(月)	定期監査(書記)
25日(月) ~2月26日	2年生保健体育(実技)集中授業 …国立妙高少年自然の家で実施
3月8日(金)	第6回卒業式・第5回修了式
11日(木) ~12日(金)	公立短期大学協会理事会・幹事事務局長会 ……甲府市で開催 小俣事務局長出席
14日(木)	定期監査(委員)
21日(木) ~31日(日)	春季休業
29日(金)	退職辞令交付

## 教授会・委員会の活動

### (1) 教授会の活動

- 第 1 回 (13. 4. 9) ・平成 13 年度主要推進事項について  
・看護短期大学看護学科の募集停止について  
・専攻科定員の検討について
- 第 2 回 (13. 5. 7) ・平成 13 年度専門公開講座について
- 第 3 回 (13. 6. 4) ・大学移行に伴う留学生の対応及び休学申請の取り扱いについて  
・専攻科の定員について  
・退職教員の研究費で購入した図書処理結果について
- 第 4 回 (13. 6. 18) ・学校案内パンフレットの作成について  
・委員会構成員の追加  
・平成 14 年度学生募集要項について
- 第 5 回 (13. 7. 2) ・新潟県立看護短期大学条例の改正について
- 第 6 回 (13. 9. 3) ・学生の復学について  
・平成 13 年度定期選書結果について
- 第 7 回 (13. 10. 1) ・村山教授急逝に伴う委員会委員の選任について  
・学生の休学について
- 第 8 回 (13. 11. 5) ・平成 14 年度学年暦(案)について  
・新潟県立看護短期大学図書館図書の除籍処分(案)について
- 第 9 回 (13. 11. 15) ・平成 14 年度専攻科推薦入学者選考試験合格者の決定について
- 第 10 回 (13. 12. 3) ・学長選挙管理委員会の設置及び委員の選出について
- 第 11 回 (13. 12. 20) ・平成 14 年度専攻科一般入学者選考試験合格者の決定について
- 第 12 回 (14. 1. 15) ・学長候補者選挙投票結果について  
・後期試験日程について
- 第 13 回 (14. 1. 21) ・学長候補者の決定について
- 第 14 回 (14. 2. 4) ・新潟県立看護短期大学条例の改正について  
・平成 14 年度実習配置計画について
- 第 15 回 (14. 2. 18) ・新潟県立看護短期大学条例の改正について
- 第 16 回 (14. 3. 4) ・卒業・修了判定について  
・新潟県立看護短期大学職業紹介業務運営規程の改正及び新潟県立看護短期大学職業紹介業務個人情報適正管理規程の制定について  
・平成 14 年度ガイダンス及び健康診断について  
・平成 14 年度時間割について  
・学生の休学について
- 第 17 回 (14. 3. 11) ・進級判定について
- 第 18 回 (14. 3. 25) ・進級判定について  
・平成 14 年度各種委員会等の構成方針について  
・平成 14 年度時間割りの変更について

## (2) 各委員会の活動

### ① 企画委員会

- 第 1 回 (13. 4. 3) ・ 企画委員会正副委員長について  
・ コンピューター部会について
- 第 2 回 (13. 4. 16) ・ 平成 13 年度主要推進事項について  
・ 専攻科の定員について  
・ コンピュータ部会の構成員について
- 第 3 回 (13. 5. 14) ・ N C N—net メールアドレスの学内公開について  
・ 看護大学設立準備職員の N C N—net 利用について
- 第 4 回 (13. 5. 24) ・ 専攻科の定員について
- 第 5 回 (13. 6. 11) ・ 大学移行に伴う留学生の対応及び休学申請の取扱いについて  
・ 委員構成員の追加について
- 第 6 回 (13. 7. 9) ・ ホームページの更新について
- 第 7 回 (13. 9. 10) ・ 村山教授急逝に伴う委員会委員の選任について
- 第 8 回 (13. 10. 15) ・ 教員研究費の追加配分について
- 第 9 回 (13. 11. 15) ・ 教材費の共通プール分の支出について
- 第 10 回 (14. 1. 28) ・ 平成 13 年度卒業式・修了式について  
・ 平成 14 年度以降の委員会等の取扱いについて
- 第 11 回 (14. 2. 18) ・ 新潟県立看護短期大学学則の改正について  
・ 平成 14 年度予算の内示について  
・ 教材費プール分の使途について  
・ 平成 13 年度研究費の使途について
- 第 12 回 (14. 2. 27) ・ 新潟県立看護短期大学職業紹介業務運営規程の改正及び新潟県立看護短期大学職業紹介業務個人情報適正管理規程の制定について
- 第 13 回 (14. 3. 11) ・ 平成 14 年度各委員会等の構成方針について  
・ 学外ホームページの更新について

## ② 教務委員会

- 第 1 回 (13. 4. 3) ・ 委員長、副委員長選出及び委員会の開催日程について
- 第 2 回 (13. 4. 23) ・ 委員会活動の年間計画について  
・ 選択科目の履修状況について
- 第 3 回 (13. 5. 21) ・ 大学移行期に伴う留年生の取扱いについて
- 第 4 回 (13. 6. 18) ・ 大学講義わくわく体験事業について  
・ 保健体育実技集中授業について
- 第 5 回 (13. 7. 24) ・ 実習の配置計画について
- 第 6 回 (13. 9. 10) ・ 非常勤講師について  
・ 平成 14 年度学年暦について
- 第 7 回 (13. 10. 15) ・ 後期選択科目の履修変更について
- 第 8 回 (13. 11. 19) ・ 平成 14 年度非常勤講師予定者について  
・ 前期試験結果について  
・ 平成 14 年度時間割作成について
- 第 9 回 (14. 1. 21) ・ 短期大学科目担当教員について  
・ 平成 14 年度実習配置について
- 第 10 回 (14. 2. 27) ・ 平成 13 年度卒業・修了判定について  
・ 平成 14 年度時間割について
- 第 11 回 (14. 3. 11) ・ 平成 13 年度進級判定について

## ③ 学生委員会

- 第 1 回 (13. 4. 3) ・ 委員長、副委員長の選出及び委員会開催日程について  
・ 学外ガイダンス全体打ち合わせについて  
・ ツベルクリン反応検査の実施について
- 第 2 回 (13. 4. 23) ・ 学生委員会年間スケジュールについて  
・ 平成 13 年度のガイダンス総括について  
・ 平成 13 年度の保健室管理について  
・ 奨学金の手続き、授業料の減免について
- 第 3 回 (13. 5. 14) ・ 平成 13 年度奨学生選考について
- 第 4 回 (13. 5. 28) ・ 学生の健康診断結果概要について  
・ サークル活動について
- 第 5 回 (13. 6. 25) ・ ツベルクリン反応検査の結果について  
・ 夏季休業中の生活指導について
- 第 6 回 (13. 9. 10) ・ 平成 13 年度「大学祭」スケジュールについて
- 第 7 回 (13. 9. 24) ・ 平成 13 年度「大学祭」の計画概要について
- 第 8 回 (13. 10. 22) ・ 平成 13 年度「大学祭」の概要について  
・ 奨学金及び授業料の減免について
- 第 9 回 (13. 11. 26) ・ 平成 13 年度「大学祭」の総括について

- 第10回 (14. 2. 26) ・平成14年度ガイダンス等の日程について
- ・学生傷害賠償保険について
- ・保健室の利用状況について
- 第11回 (14. 3. 8) ・平成13年度学生委員会の総括について

#### ④ 入試委員会

- 第1回 (13. 4. 3) ・委員長、副委員長選出
- ・定例会日の決定について
- 第2回 (13. 4. 16) ・平成14年度入試日程について
- ・入試委員の役割分担について
- ・学校案内パンフレット作成について
- 第3回 (13. 5. 14) ・学校案内パンフレット作成について
- 第4回 (13. 6. 11) ・平成14年度学生募集要項原案の検討について
- ・学校案内パンフレット作成について
- 第5回 (13. 7. 9) ・専攻科推薦入試実施要領について
- 第6回 (13. 7. 30) ・平成14年度専攻科一般入試実施要領の検討

#### ⑤ 図書委員会

- 第1回 (13. 4. 3) ・委員長、副委員長の選出及び委員会の開催日程について
- 第2回 (13. 4. 16) ・平成12年度図書委員会引継事項の確認について
- ・平成13年度図書委員会年間計画について
- ・平成13年度図書館予算について
- 第3回 (13. 5. 21) ・図書館基本方針について
- ・継続図書の検討について
- ・廃棄図書等の基準(案)について
- ・紀要の受入れについて
- ・教員管理複本について
- 第4回 (13. 6. 20) ・廃棄図書等の基準(案)について(継続)
- ・定期購入希望図書調査について
- 第5回 (13. 7. 12) ・平成13年度定期選書について
- ・廃棄図書等のリストについて
- 第6回 (13. 9. 17) ・図書委員会の構成について
- ・廃棄図書基準(案)の検討について(継続)
- 第7回 (13. 10. 15) ・廃棄図書基準(案)の検討について(継続)
- ・平成14年度継続雑誌について
- ・利用者の減少について



- 第 8 回 (13. 11. 22) ・ 廃棄図書の検討について  
・ 定期選書について
- 第 9 回 (13. 12. 17) ・ 廃棄図書の決定について  
・ 定期選書の結果について
- 第 10 回 (14. 1. 21) ・ 4 大移行に伴う図書館の状況について  
・ 上越教育大学附属図書館との相互貸借協定について
- 第 11 回 (14. 2. 18) ・ 平成 13 年度予算執行状況について  
・ 教員退職時における研究費購入図書の取扱いについて
- 第 12 回 (14. 3. 18) ・ 平成 13 年度図書委員会総括について  
・ 平成 14 年度図書館開館日程について

#### ⑥ 紀要委員会

- 第 1 回 (13. 4. 3) ・ 委員長、副委員長の選出及び委員会の開催日程について
- 第 2 回 (13. 4. 23) ・ 年報の作成計画について
- 第 3 回 (13. 5. 28) ・ 年報の内容確認及び調整について
- 第 4 回 (13. 6. 25) ・ 年報の編集作業状況について  
・ 紀要の仮題提出状況について
- 第 5 回 (13. 7. 2) ・ 年報の最終原稿確認について
- 第 6 回 (13. 8. 27) ・ 紀要の投稿原稿確認と査読者の決定について
- 第 7 回 (13. 9. 17) ・ 紀要の原稿提出状況と査読状況について
- 第 8 回 (13. 10. 22) ・ 紀要の査読状況について
- 第 9 回 (13. 10. 29) ・ 紀要の最終原稿確認について
- 第 10 回 (14. 1. 28) ・ 年報、紀要作成の総括について
- 第 11 回 (14. 2. 25) ・ 次年度への引継ぎ事項の確認について